

# 第六回

## 《無責任》

な戦い

先手

半島【三首 啄木鳥】

後手

清水らくは【車懸りの詩陣】

ぐうちよぎばあ

半島

夕暮れは水面と石とぼくたちへ朽ちろとしきりにささやく聖歌

前髪をはさみで切る日お前らは誰もわたしを知らないくせに

青空はかぎりなくある爆弾をギフト包装する教師にも

「エンドレスリーグ」	私	君	あいつ	勝敗	順位
私	★	どこまでも空ならいいけど、限界があると言っていた。どこまでも空だと証明して、どこまでも行けると言いたいよ。	飾らないことを飾りにしているから嫌いだ。同じ人を見つめているから嫌いだ。でもどうしても友情は花を咲かせてしまおうんだ。	誰にも勝てなかったけれど、誰にも傷つけられなかった。そういう人生が続いている。	多分、どうしようもない位置で、それでもまだ届きそうな位置。信じるにも信じないにも残酷な位置。
君	見つけてくれたんです。ただ先にとどり着いただけど震えてしまっただけです。自信になってもいまだに遠かったです。ただ別なのです。	★	すごく惹かれるときに、すごくわかってしまっただけ、そっと手を触れた後に、ずっと距離を置きたくなります。	きつとすべてが中途半端に、なんとか均等を保っています。だからいつまでも、メビウスがぐるぐると続いています。	私の横にはいつも誰かひよっとしたら世界をいてくれます。だけれどいつかはちよつと前に出てみたいのです。
あいつ	ただ先にとどり着いただけなのに、その距離はとて遠かった。だから世界の裏側から回っていくことにした。	どんな場所でも光っているけれど、明るいと限らない。隣に行けたら二人とも輝けるだろうに。	★	いつも負けているつもりだったけれど、まだ決着はついていなかった。夢は常に努力を強制してくる。	めていないこともある。

# 無責任堂

MuseKininnDo

『無責任』 第6号

責任者 清水らくは (龍)

副責任者 半島 (虎)

連絡先 [rakuha@hotmail.com](mailto:rakuha@hotmail.com)  
発行日 2012年8月1日